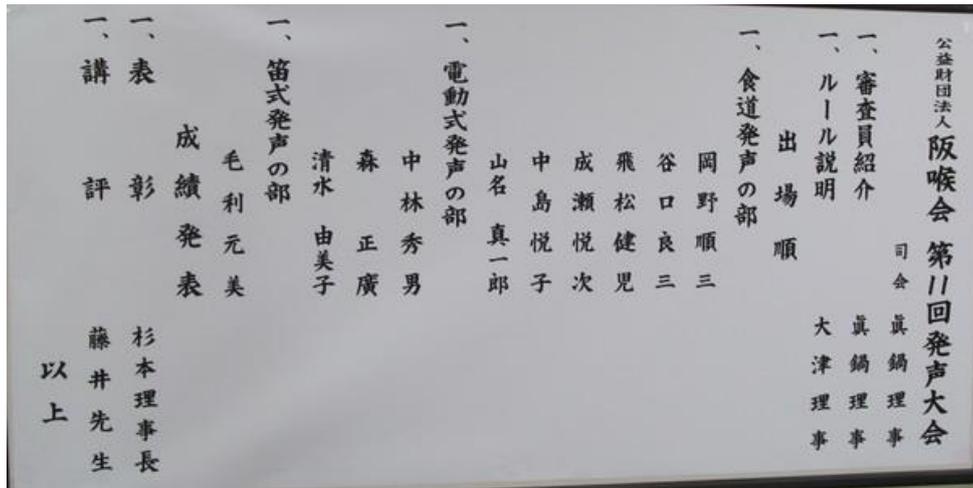


11回 阪喉会 発声大会



司会 眞鍋理事

時計係

ルール説明

大津 専務理事

審査員の皆さん (前列)



大会ルール (全国喉摘者スピーチコンテストのルールに準じます。)

原稿：自作文 (読み上げは不可)

時間：食道発声の部⇒課題曲～スピーチ 5分以内 (課題曲は赤とんぼ・故郷の空より)

EL発声の部⇒スピーチのみ 4分以内

※制限時間の20秒前には予鈴あり。(時間オーバーは減点対象です。)

※時間計測は、発表者が第一声を発声した時点より開始します。

食道発声の部

岡野さん

谷口さん

飛松さん



成瀬さん



中島さん



山名さん



【動画再生】



【動画再生】

電動式発声の部

中林さん



森さん



清水さん



【動画再生】



【動画再生】

公開競技 笛式人工喉頭

毛利さん



【動画再生】

成績発表

食道発声の部

- 優勝： 山名 さん
- 2位： 中島 さん
- 3位： 成瀬 さん

電動式発声の部

- 優勝： 清水 さん
- 2位： 中林 さん
- 3位： 森 さん

講 評

大阪国際がんセンター
頭頸部外科 看護師長 鈴木 様

大阪国際がんセンター
頭頸部外科 岸川先生

第74回 公財法人 阪喉会総会



発声大会の発表を見せて頂き感動しております。

特に清水さんの『話す事で社会と繋がって、沈黙していた2年間の時期が、勿体無く感じた。』と仰っていた言葉を聞き、胸がいっぱいになり、今の気持ちを、病院でみんなに伝えたいと思います。手術を受けて、社会に戻る患者さんの、少しでも力になれる様に、看護師一同 業務していきたいと思っております。

発表をされる方々の緊張感が凄く伝わってきて、発表後に、ホッとされたり悔しそうな顔をされるのが印象的でした。自分自身の留学時に、英語がなかなか現地の人に通じずに苦労した経験があります。皆さんが闘病の過程を経て、努力を重ねられエネルギッシュな日々を送られていることに、感銘を受けました。医療も進歩しております。医療従事者として、改めて術後サポートの大切さを感じました。

表 彰 式



閉会の辞

大津専務理事



只今の発声大会をもって、今日の予定しておりました、全ての行事が、無事終了する事が出来ました。皆様の長時間にわたっての協力の賜物と感謝しております。

術後のケアサポート不足が、散見されます。今日出場の皆様は、術後初めて人前でスピーチをなさり思う様に、発揮できない体験をなされたと思いますが、これは馴れるしかありません。今日の様な発表の場を、おおいに利用なさって下さい。来年も皆さんの元気な顔と再会出来る事を祈念しまして、閉会の言葉とさせていただきます。本日はどうも有難うございました。